

空港対策特別委員会

C 滑走路北側トンネル整備工事現場を視察

9月12日に空港対策特別委員会が開催され、2件の報告がありました。

1件目は航空機騒音測定結果で、現在、航空機騒音測定局は全体で101局が設置されており、町内6局を含む測定局の値は運航回復の中、前年度より減少した月もあり、注視していくとの説明でした。2件目は芝山鉄道利用者駐車場の利用状況で、一般・定期ともに利用が増加し、出庫台数・売上も伸びているとの報告でした。

その後、町長、副町長、担当課職員、議員全員で成田空港の視察へ向かい、共生・共栄会議室にてNAAより「成田空港の現状と更なる機能強化の取り組みについて」と「東京電力パワーグリッド(株)送電設備移設の進捗および今後の予定について」の説明を受け、質疑をおこなった後、「空と大地の歴史館」で開催されている写真展「三里塚と一畑 過去と現在」などを視察しました。さらに、C滑走路北側トンネル整備工事現場に移動し、滑走路部分の軟弱地盤対策である深層混合処理工法の説明を受けるとともに、作業を視察しました。

(空港対策特別委員会委員長 萩原宏紀)



工事現場の進捗状況を確認

総務産業建設常任委員会

～委員会レポート～

より詳しい議案審議を委員会で

9月16日午前10時より委員会に付託した総務産業建設分野にかかる7議案について、委員全員および町長をはじめとする関係職員が出席のもと、より詳しい審議を行いました。



芝山町に増設された空港シャトルバスのバス停

多古町情報公開条例の一部改正については公開請求者の利便性を高めるためであるとの答弁がありました。火入れに関する条例の一部改正については、申請書の提出は森林、農地、採草場が対象になるとの答弁がありました。特に令和7年度一般会計補正予算については3名の委員から質疑がありました。歳入については、道の駅あじさい館空調施設の県負担内容についての質疑であり、歳出における質疑では、空港シャトルバスの芝山町バス停の増設について、さらに、現在進められている基盤整備事業の業務委託料の減額理由、町道舗装工事の増額経緯について活発な質疑がありました。採決の結果、全ての議案において、異議なく原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(総務産業建設常任委員会委員長 菅澤博隆)

News & Topics

多古町議会では、定例会や臨時会での本会議や委員会のほかに、日ごろから視察・研修や近隣議会との連携、イベントへの参加など、幅広い活動を行っています。ここではその一部をご紹介します。

7月 千葉県町村議会議長会 議員研修会

31日 変わりゆく時代に合わせた政策を

千葉県町村議会議長会主催の議員研修会がオークラ千葉ホテルで開催され、議員10名が参加しました。

第1部では、東京大学大学院 農学生命科学研究科の特任教授である鈴木宣弘氏による「今後の食糧事情と日本農業の課題」の講演を傾聴しました。講師は、いまだに続く米価高騰について「農家が安心して増産できるように、価格下落時の所得補填制度を導入することが不可欠」と話すほか、新規就農者への支援については「農地や資金、機械、販路などを自治体が提供し、定着を後押しする仕組みづくりが急務」と強調しました。農業の現状と課題、そして将来像について考える貴重な機会となりました。



研修で新たな知識を学ぶ

第2部では、(株)南気象予報士事務所の黒木愛子氏による「気候変動:異常気象とこれからの防災・減災対策～災害リスクを回避するための天気予報の見方・聞き方・活かし方～」の講演を傾聴しました。近年増加している猛暑や局地的な豪雨は大規模災害を巻き起こす原因であり、いつ起こるか予測できないため、普段から考えられるリスクを認識しておくことが大切であると学びました。

文教厚生常任委員会

教育行政をチェック



令和8年1月完成予定の学童保育所

文教厚生常任委員会に付託された議案7件、報告1件および請願2件を議題とし、9月16日午後1時30分より審査を行いました。委員全員出席のもと、町長ほか関係職員が出席し、議題の審査に入りました。

全ての議案において質疑・討論はなく、採決の結果、原案のとおり可決すべきと決定しました。

その後、教育長、学校教育課長兼学校給食センター所長、生涯学習課長から「教育委員会の事務に関する点検及び評価について」の報告を受けました。これは、法律において「毎年、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表しなければならない。」とされており、この規定に基づき実施されるものです。学校教育・生涯学習・学校給食センターそれぞれの指針を基に事業が行われ

ており、学識経験者などから意見を得ることで、より良い教育行政の推進を図ることができていると認識しました。

その後、請願の審査を行い、内容・趣旨を確認しました。協議した結果、特に質疑もなく採決の結果、本委員会としては採択すべきものと決定しました。

(文教厚生常任委員会委員長 橋本孝之)